



子どもの

参加費
無料



放課後活動を 活性化するには

冒険遊び場を例に

日時 平成27年 **3月29日** (日)
13:00~15:30 (開場12:30)

会場 **聖徳大学10号館12階**
千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員 **50名 (事前申込不要)**

主催 **松戸市、聖徳大学 (事業受託)**

内容

松戸市は聖徳大学と連携して、パパの子育て講座「パパ出番ですよ」および、地域の人材育成講座「松戸子育て応援団養成講座」を企画・実施いたしました。

子どもと遊んで街を元気にするためには子育て中の父親や地域の大人たちの協力が不可欠です。各講座ではキャンプやフィールドワークを通して、子どもが地域ですくすく育っていくにはどうしたらいいか、受講者である子育て中の父親や子育て支援を応援する地域の大人たちと考えました。

本講演会では、日本初の冒険遊び場「羽木プレイパーク」のプレリーダー大正大学の天野秀昭特命教授をお招きし、講座の成果を踏まえて、子どもの放課後の居場所づくりおよび松戸市における「冒険遊び場」実現の可能性についてお話していただきます。また、ディスカッションでは、2月に閉館した東京都渋谷区「こどもの城」の企画からプレイ事業部長を務めた本学の神谷明宏がコーディネーターし、参加者の皆様も交えて「子どもが安心安全に成長できる街づくり」に必要なことは何かを考えます。

プログラム

13:00~14:30 講演会

子どもの放課後活動を活性化するには
~冒険遊び場を例に~

講師

天野 秀昭

(大正大学人間学部環境学科
こどもコミュニティコース 特命教授)



プロフィール

1958年、東京都生まれ。「羽根木プレーパーク」でのボランティアを経て、1981年、住民運動によりプレーパーク初の有給プレーリーダーとなる。その後、地域住民と共に世田谷・駒沢・烏山の3つのプレーパークの開設に携わる。1998年には国内初の18歳までの子ども専用電話「せたがやチャイルドライン」の開設にも携わった。2009年4月から大正大学特命教授。遊びに関わる大人、ことにプレーリーダーの育成を目的とし教壇に立っている。

著書

「よみがえる輝く子どもの笑顔」すばる舎、
「遊びが社会を変える」日本冒険遊び場作り協会編 他

コーディネーター

神谷 明宏

(聖徳大学児童学部児童学科 准教授)



14:30~15:30 ディスカッション

講師の天野秀昭先生(屋外遊び場のプロ)とコーディネーターの神谷明宏(屋内遊び場のプロ) および参加者を交えて意見交換をします。

お問い合わせ ▶▶▶ **聖徳大学生涯学習研究所**

〒271-8551 千葉県松戸市松戸1169

聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)6階

TEL:047-365-5961 FAX:047-365-5692

URL <http://www.tunagari.jp/>

